

自己評価票

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
1. 理念に基づく運営						
1. 理念の共有						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に沿いながら、認知症があっても地域との交流が持てるように努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議や申し送りの際に確認している		理念は玄関や台所にも掲示して見やすいようにしている
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	設立時、家族会、地域推進会議にて説明し、理解をいただいている		面会時、見学者にも目に付きやすい玄関に掲示し、説明をしている
2. 地域との支えあい						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の人にも自由に見学が出来るように立看板をして雰囲気作りをしている。市役所にパンフレットを設置		散歩、畑での野菜作りの際、近隣の方々と会話をされている。ボランティアで草刈をしていただいている。
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の会員でもあり、地元の保育園や幼稚園児童が来所している。また、お祭りにも見学したり交流が図られている		近隣の方も、慰問やボランティアで来所されている。ホームでの御祭りや行事には地元の人達の参加を歓迎している。また、地元で行われる交流会には招待を受け参加している。
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者の家族や知人の来訪時に高齢者介護についての相談に応じている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を会議にて検討し、改善策に努めている		
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価結果を運営推進会議にて報告し、話し合いがもたれている		家族へも会議録を配布して意見などを伺っている
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センター主催の「香取認知症研究会」の研修にも積極的に参加をしている		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	認知症研修会に参加し、地域権利擁護事業なども学んでいる		成年後見制度の利用者がおり、話し合いを持っている

【千葉県】グループホームすこやかさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止などの研修に参加し、会議にて報告、話し合いし注意をしている		日々の申し送りの際、身体状況の変化について把握し、話し合っている
4. 理念を实践するための体制						
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、家族とは面会に来所された際、話し合いの場を設け、十分な説明を行い、理解を頂いている。		
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見を言いやすい雰囲気作りに努めている		利用者の意見は会議にて生かし、反映させるべく、努めている
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	暮らしぶりや健康状態については随時報告し、その他は月に1度書面にて報告している		金銭については出納長に記入して月に1度コピーを家族へ知らせている
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満、苦情等の意見場を玄関に設置して、雰囲気作りに努めている	○	意見を検討し、サービスに反映させている
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議でも職員の意見や提案を聞く機会を設けている		業務の中でも、その都度話し合いが持たれている。会議へは、運営者や管理者も出席
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況変化の際は、その都度勤務調整を図っている		利用者の病院受診等がある際は職員の確保に努めている
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮を	利用者への精神的不安を感じさせないように努力している		両ユニットでの交流があるため、異動の際は違和感がない
5. 人材の育成と支援						
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等にも積極的に参加が出来る機会があり、自己研鑽に努めている		毎年、職員のレベルアップのために国家試験(介護福祉主事)への受験を勧めている
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に同業者との勉強会に参加し、サービスや質の向上に努めている		千葉県グループホーム連絡会に参加し、交流を図っている
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の親睦会にてストレスの解消が図られている		他の事業者との交流があり、ストレスが軽減されている
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の状況を把握し、研修、学習の場を提供、質の向上に努めている		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時、不安にさせないように十分本人の話を傾聴し、安心が出来るように努めている		家族の面会を促していくと共に、本人の希望を受け止める努力をしている

【千葉県】グループホームすこやかさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の際、不安や困っていることを伺い、その都度説明し、納得が出来るように努めている		
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の要望を聞き、より良いサービスが提供できるように努めている。相談時には、本人、家族と共に職員間でも必要なサービス提供のため、話し合い対応している		
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が他の利用者と安心して生活が出来るように職員が雰囲気を作るとともに、信頼関係が築けるように努め、食事の座席など気を配っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に一人ひとりの人格を尊重しながら、お互いに喜怒哀楽が共有できるよう努めている。		利用者全員に声をかけ、会話やゲームなどの参加を促している。食事の味付けや、畑作業の仕方は利用者から教わりながら共に行っている。
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築	家族とはお互いに共感し、支えていける関係作りに努力している		家族の希望も良く伺って、お互いに相談し、支えあっている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族がよりよい関係が築けるように相談、支援に努めている。		本人と家族がこれまでのより良い関係が図れるように努力している
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の知人にも気軽に来所が出来るように支援をさせていただいている。		知人や近くの友人も来所されている
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が良い関係を築けるように注意をしながら努めている。		利用者の立場を尊重し、職員が間に入り、さりげなく援助している。
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者との契約が終了しても、その後の関係が継続できるようにしている。		入院の為に退所されてもその後の御見舞いには訪れている。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
1. 一人ひとりの把握						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生活にあった暮らし方に配慮し、希望の把握に努めている。		
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の人権を尊重しながら、生活歴、生活環境に配慮が出来るように努めている		昔から馴染みのあるホウキ、お手玉なども用意して昔を思い出している。得意分野を活かしながら自信に繋がるように支援している。
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりのリズムを考えながら、総合的に判断している。		本人の趣味の発表の場を設けている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し						

【千葉県】グループホームすこやかさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族が面会、連絡時に本人の希望や意向を話し合い、介護計画に生かせるように努めている。		介護計画は家族も確認されている。医療面は、掛かりつけ医の指示に従い、また看護婦とも話し合っている。
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成して日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画は、本人の身体状態の変化を考慮しながら現状に沿った計画を作成できるように努力している。		本人の急激な変化には、本人、家族とも相談し、見直しを行っている。
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の状況や気付き等があった際はケース記録に記入し、共有している。		定例の会議においても、情報を共有しながら介護計画を検討している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望になるべく応じた外出や買い物が出来るように努めている。		髪の毛のカラーリングをしたり、慰霊祭へ参加される方の付き添い等
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元の中学校の体験学習、また、消防署の立会いによる避難訓練を実施し、交流を図っている。		地域推進会議にも地元の民生委員の主席を頂いている。
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	研修などにも参加し、他の事業所との交流が図られており支援に活かしている。		千葉県グループホーム連絡会に出席し、話し合いの場を設けている。
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域推進会議に地域包括支援センターの職員の出席もあり、話し合いを持っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これまでの掛かりつけ医を利用されていて、本人や家族とも相談をしながら受診をしている。		
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	掛かりつけ医と認知症専門医の両方を受診されている方もおり、必要に応じて相談をしている。		協力医療機関に認知症専門医があり、相談や支援を得ている。また、往診して頂いている。
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をし	職員の中に、看護師もいて日常の健康管理に努めている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連	入院した際には、病院とも経過状態について説明を頂き、退院に向けて相談をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した際は、掛かりつけ医と相談し、支援を頂いている。		重度化した終末期のあり方について、家族と相談している方もいる。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	掛かりつけ医と相談し、指示を頂くと共に、家族とも話し合い、医療行為が必要な際は入院をされている。		

【千葉県】グループホームすこやかさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
49		住み替え時の協働による ダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐこと	グループホームから他の居所へ移り住む際は、関係者と十分話し合い不安を軽減している。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
1.その人らしい暮らしの支援						
(1)一人ひとりの尊重						
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーや人権を尊重している。お互いに人権を損ねた対応には注意をしている。		個人情報の守秘義務が図られている。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	誕生会、買い物でも本人の希望を伺い、対応をしている。自分の意見が表現できるよう穏やかな姿勢で接している。		ドライブ、ショッピングの行き先、服装、嗜好品など出来る限り希望を取り入れている。
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活に合った暮らし方を把握し、その人に適した満足感が得られるよう、一人ひとりのペースとリズムに合わせて支援するよう心がけている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出時や年中行事の際は、希望を取り入れるように努めている。身だしなみやおしゃれが出来るように支援している。		普段とは異なる洋服を着用しおしゃれを楽しむ機会となっている。行きつけの美容院を利用されたり、毎朝化粧をされる方もいる。
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	上手に摂取できない利用者には隣に座り、さりげなく摂取できるように努めている。		食事作りの際はできるだけお手伝いを頂いている。手作りおやつや誕生日ケーキは利用者全員に参加していただいている。
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は利用者一人ひとりの嗜好品を把握しており、本人の体調の具合(高血圧など)を見ながら、嗜好品を提供している。		外出時には本人の嗜好品のお酒などを楽しまれている。季節の食べ物や本人の希望のものを献立に取り入れている。
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中トイレに誘導できる人は、できるだけ布パンツを使用し、排泄がしやすいように図り、日中のオムツ使用を減らしている。		本人の状態に応じて使い分けをしている。
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ゆっくりと入浴をしていただけるよう個々の希望を取り入れた入浴に努めている。利用者の希望にできるだけ沿いながら、日曜日以外、毎日実施している。		本人の希望で毎日入浴をされている方もおります。皮膚疾患のある利用者は入浴以外にも起床時と就寝時に、清拭施行。

【千葉県】グループホームすこやかさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの睡眠パターンに合わせて日中の運動を勧めている。リハビリ体操、レクを毎日行っている。		掛かりつけ医とも相談をし、処方薬を服用されている人もおります。不民事には、雑誌、ホット麦茶を提供し、夜勤者が話し相手になり対応している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者一人ひとりの生活歴を把握し、自分でできる事、できない事を見極め一人ひとりが自分の役割を持ち自信につながる様支援している。		生活歴を考慮して、勧めてみるが、難な人もあり、処遇の見直しを図っている。
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	遠足や外出時には、自分でできる方は現金を所持し、ご自分で支払いをされている。		お金の管理が困難な利用者には職員がさりげなく付き添いをしている。
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出を好む利用者には、畑や花壇を見に行くなど努めている。		天候により、日曜日のドライブやお茶を飲みに出外している。
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとに花見見学や外食会など出かける機会を作り支援している。一人ひとりに沿った希望を心がけているが、家族へも一緒にの外出を勧めている。		利用者の自宅訪問や自分の好きな買い物にて外出したりして安心をさせている。
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望で、家族や友人への手紙や電話ができるように図っている。		毎日、娘宅へ電話をされている方もおります。
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者への面会は、自由に訪問ができ、お茶を差し上げ、ゆっくり過ごせるよう努めている		家族の中には1日毎に来所をされている方もいます。
(4) 安心と安全を支える支援						
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は積極的に研修へ参加し、身体拘束はしていない。		職員はお互いに注意して利用者の人権を尊重している。
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関やテラスのサッシ戸は鍵をかけてはいない。		利用者の中には物が盗まれたと強い妄想の方がおり、本人、家族の希望で鍵を設置されている。
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の所在は常に把握しており、安全に生活ができるようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	貴重品は金庫に預かっていて、家族に相談の上、一人ひとりの状態に応じた対応を行い支援している。また、注意の必要な消毒薬、薬、刃物などは利用者の手が届かない場所で保管をしている。		職員全員が危険防止の意識を持ち努力している。

【千葉県】グループホームすこやかさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書、ヒヤリ、ハットファイルを作成し、定期的に行っている会議にて、防止のための学習をし、危機意識を持ち努力している。		転倒防止のため、滑り止めのテープや避難訓練も定期的の実施している。浴室は滑り止めマットを使用している。
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時マニュアルがあり、緊急時の対応の仕方について研修を行っている。	○	利用者の急変時にあわてないように定期的に訓練をしていきたい。
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を実施している。地震や水害についても話し合っている。		自治会の会員でもあり、近隣の人々にもグループホームの存在は認知されている。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人ひとりの高齢者ゆえに起こるリスクについては検討し、家族へも説明をしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを行い、職員の申し送りの際、詳細に報告され、そのための対応を話し合っている。		家族へも連絡をして対応について相談している。高血圧症の利用者は気象時にもバイタルチェックをし、血圧ノートを記入している。
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師からも薬の服用について説明を受けており、理解をしており、薬は台所にて管理し、服薬の支援をしている。		利用者の服薬後の変化についてはかかりつけ医に詳細を報告している。内服薬の一覧表を台所に掲示し、準備の際には2度チェックを行っている。
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘に及ぼす食事内容などについても、栄養士と相談してメニューに活かしている。水分補給を促し、おやつにはサツマイモを取り入れたり、飲食物を工夫したり運動への働きかけもしている。		毎日のリハビリ体操や歩行練習、嚥下体操を実施し、改善に活かしている。水分は、10時、15時のお茶以外にも、起床時、運動後等に、牛乳、りんご、ヤクルトなどを提供している。
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のうがいは全員実施している。		義歯は洗浄剤にて消毒をしている。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食事はケース記録にチェックをして、その人に合った食物を提供している。		義歯がない人は刻み食にするなど工夫をしている、
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防は全員実施している。布巾は毎日消毒をしている。		トイレ使用後はペーパータオルを使用し、感染を防止している。感染症の疑いのある利用者は看護師に相談し、統一した対応をしている。
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は栄養士が適切に管理を行い、新鮮な材料を提供している。		食中毒の予防のため、残食物は捨て、管理に努めている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり						
(1)居心地のよい環境づくり						

【千葉県】グループホームすこやかさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設の周辺には、花壇を置き、近隣の方も訪問しやすく工夫をしている。		近隣の方にもボランティア慰問に気軽に訪れている。
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	西向きの居室にはブラインドを設けている。リビングの明るさも蛍光灯の明るさも調節できるようになっている。会話も暮らしの中で自然に聞こえて安心できる。		生活感や家庭的な雰囲気が味わえるように庭で摘んだ草や果物なども一緒に味わっている。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同空間には、ソファや長椅子、マッサージ器が置かれ、気の合う仲間とくつろぎの場所がある。		
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、自分で使用された馴染みの物品が置かれ、自分の好みで装飾をされ、安心できる場所となっている。		利用者の中には、今までお守りをしていた仏壇が置かれている。
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天井が高く、建物自体が換気しやすい。温度調節はこまめに行っており(温度計、湿度計設置)、各居室ごとにも冷暖房管理している。		冷暖房の使用や、加湿器の設置をし、注意をしている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア全体に手すりがあり(トイレも跳ね上げ式手すり)自動給水蛇口になっている。		利用者も手伝えるような物干しの位置にしてある。洗面所、時計など使いやすい位置に設置されている。
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレなどにわかりやすい表示をし混乱を防いでいる。		
87		建物の外周りや空間の活用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良いときにはテラスや施設の周りを散歩する。		テラスや庭には花のプランターや畑(トマト、ナス、スイカ、瓜、キュウリ、柿など)があり、全員で種まきや収穫をしている。

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	● ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	● 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	● ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	● ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	● ほぼ全ての利用者がころへ出かけている 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	● ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	● ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	● ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	● ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

【千葉県】グループホームすこやかさん

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている ● 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が ● 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が ● 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が ● 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない